

2-3 公共交通

(1) 公共交通の利用状況

松浦鉄道の利用者数は、近年横ばいが続いていましたが、コロナ禍を受け令和2年度からは大幅な減少が見られています。沿線の2県4市2町による松浦鉄道自治体連絡協議会により、施設整備費をはじめ増収策の取組等への必要な支援を行っています。

乗合バスの利用者数は、近年減少傾向が続いており、コロナ禍を受け令和2年度からは更に大幅に減少している状況です。加えて、深刻な運転士不足が顕在化しており、「佐世保市地域公共交通持続化実施計画」等に基づき、効率化と利便性の向上を図りながら持続可能なバス事業の実現に向け取組を進めています。

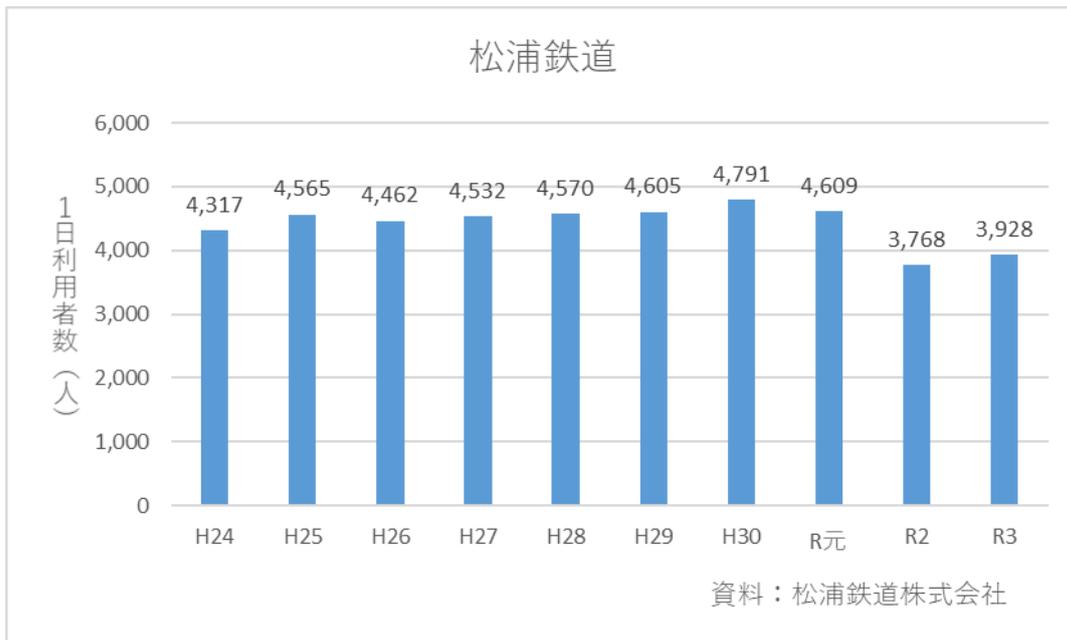


図 松浦鉄道1日利用者数

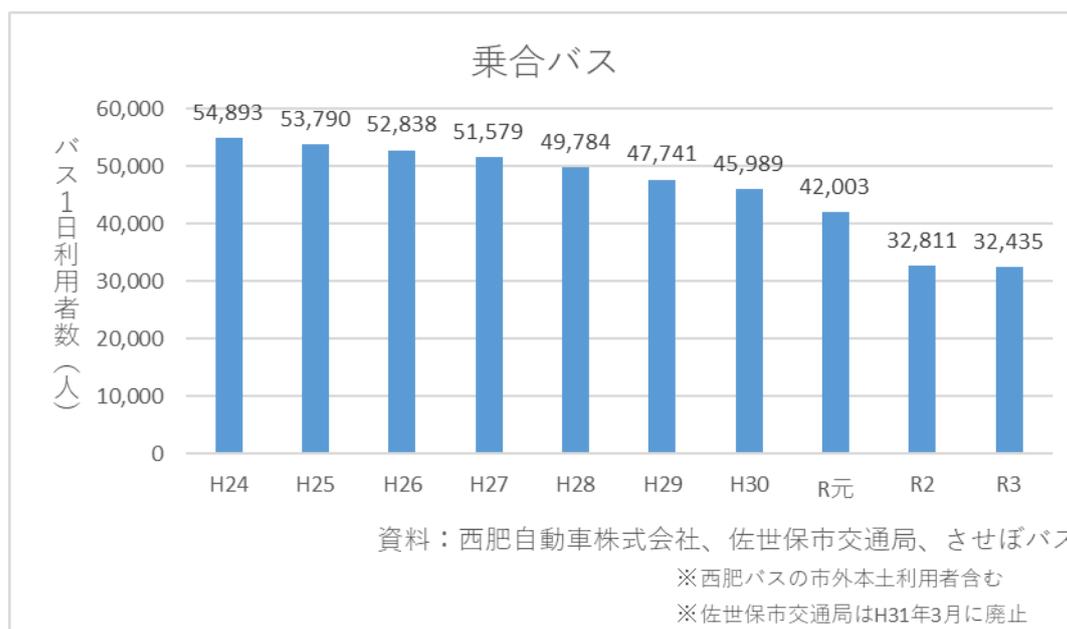


図 乗合バス1日利用者数

(2) 通勤通学における公共交通の分担率

本市の通勤通学時の鉄道・電車の分担率は、九州の各都市と比較した場合、人口が同規模の佐賀市と同程度であり、乗合バスの分担率は、長崎市、福岡市、北九州市に次いで、九州内の各都市と比較して高くなっています。

大量輸送手段としての鉄道の重要性は高いものの、本市では、JR・MRとも運行区域が限定的であることや、全区間が単線でありバスと比べて運行本数が少ないこと等が鉄道・電車の分担率が低い要因であると考えられ、通勤通学時の交通手段としてバスが非常に重要な役割を担っていることが伺えます。

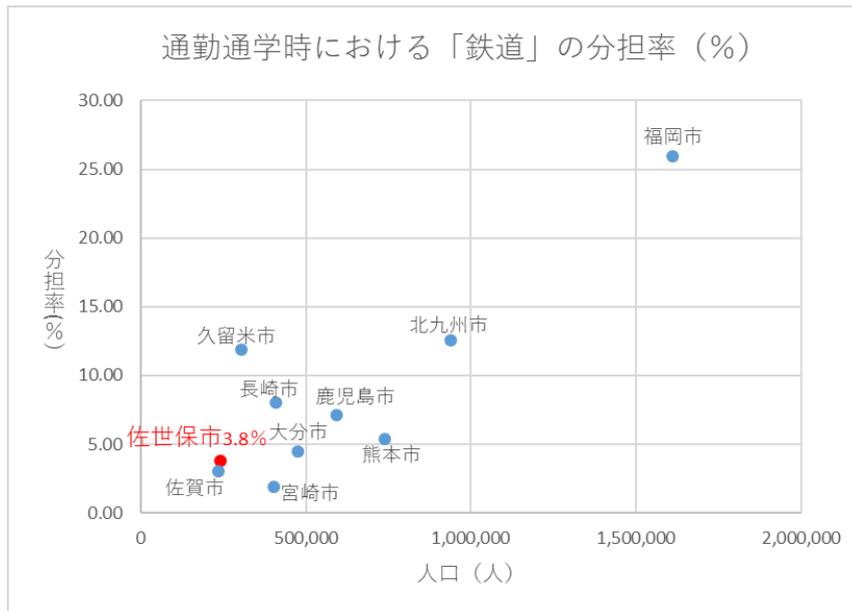


図 通勤通学時における鉄道の分担率

出典：R2 国勢調査

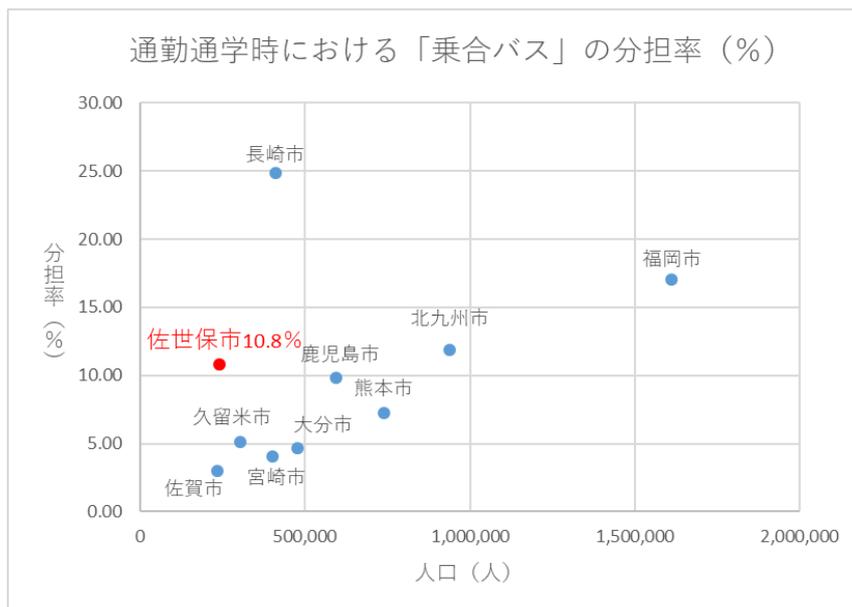


図 通勤通学時における乗合バスの分担率

出典：R2 国勢調査

2-4 都市機能配置の動向

(1) 現在の都市機能の分布状況

以下の分析により、地域ごとの都市機能の分布状況を把握したところ、地域ごとに都市機能の分布状況は異なりますが、総じて、一定の人口集積がみられるエリアに、都市機能施設が集積する傾向がみられます。

施設重複状況	公共交通施設（バス停、鉄道駅）の徒歩圏内における都市機能施設（商業、医療、高齢者福祉施設）の立地及び各施設の徒歩圏の重複状況を図示
規模別の施設分布と人口分布	規模別として、商業施設を百貨店、スーパー、ドラッグストア、コンビニエンスストア、医療施設を総合病院、病院、診療所に区分して、その分布を、周辺人口（500m 圏内置換処理人口）と重ね合わせて図示

※対象とする都市機能施設、公共交通施設は以下の通り設定しました。

項目		対象	徒歩圏
都市機能施設	商業施設	専門スーパー、総合スーパー、百貨店、コンビニエンスストア	500m
	医療施設	外科、内科、小児科	500m
	高齢者福祉施設	通所系福祉施設、訪問系福祉施設	500m
公共交通施設		全てのバス停、及び鉄道駅	バス停 300m、鉄道駅 500m

※徒歩圏の考え方について

国土交通省「都市構造の評価に関するハンドブック」では、一般的な徒歩圏は半径 800m、バス停は誘致距離を考慮し 300m とされています。

しかし、下記理由により今回の資料では半径 500m を採用しています。

- ・地方では車で買い物等に行く傾向が高い
- ・坂道の多い地形的要因から単純距離がなじまない
- ・同ハンドブックで高齢者徒歩圏は半径 500m とされている
- ・商圈の考え方としてコンビニ立地基準が徒歩圏 500m を基準にされており、100m メッシュの 500m 圏内人口置換処理をしている

出典：【公共施設】平成 29 年度 都市計画基礎調査(公共交通機関の現況)

【商業施設】i タウンページ

【医療施設】九州厚生局 コード内容別医療機関一覧表（指定一覧）長崎事務所 医科

【福祉施設】厚生労働省 介護サービス情報公表システム

【置換処理人口】国土交通省国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V2(H27

国調対応版)「人口情報メッシュ配分プログラム」により作成した 100m メッシュ人

口データを、メッシュ毎に半径 500m 圏内人口へと置き換えたデータ（500m 圏内外

の判定はメッシュの重心ポイントによる）

① 佐世保中央、相浦、日宇エリア

佐世保中央、相浦、日宇エリアにおいては、市街化区域内の大部分が公共交通の徒歩圏に含まれるとともに、複数の都市機能施設（商業、医療、高齢者福祉施設）にアクセスしやすい環境にあるなど、総じて利便性が高い傾向にあります。

なお、市街化区域内の商業施設や医療施設の規模別施設分布をみると、百貨店や総合病院等の高次な都市機能施設の立地は佐世保中央地域に集積しており、相浦地域や日宇地域においてはスーパーやコンビニ、診療所等の身近な施設の立地が中心となっています。

一方、市街化調整区域や宇久町平を除く離島部においては、都市機能施設の立地が少ない傾向にあります。

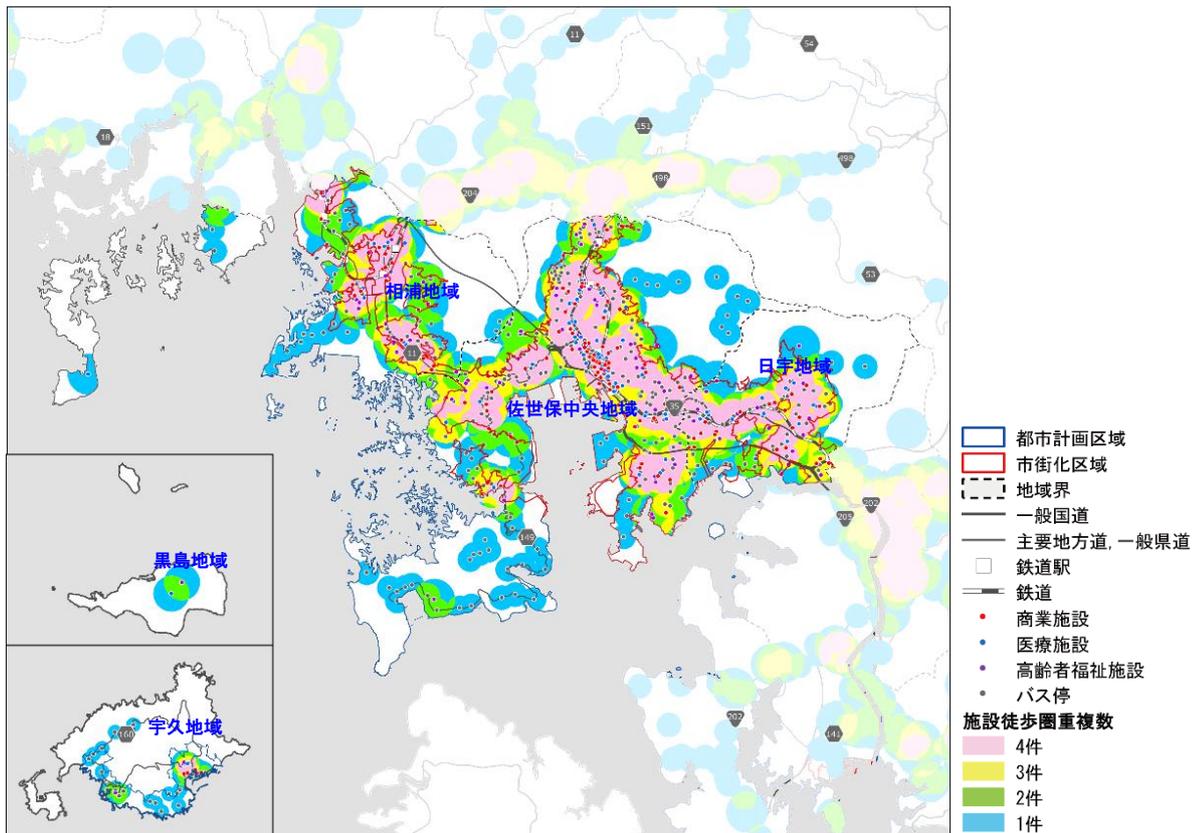


図 施設重複状況(佐世保中央、相浦、日宇エリア)

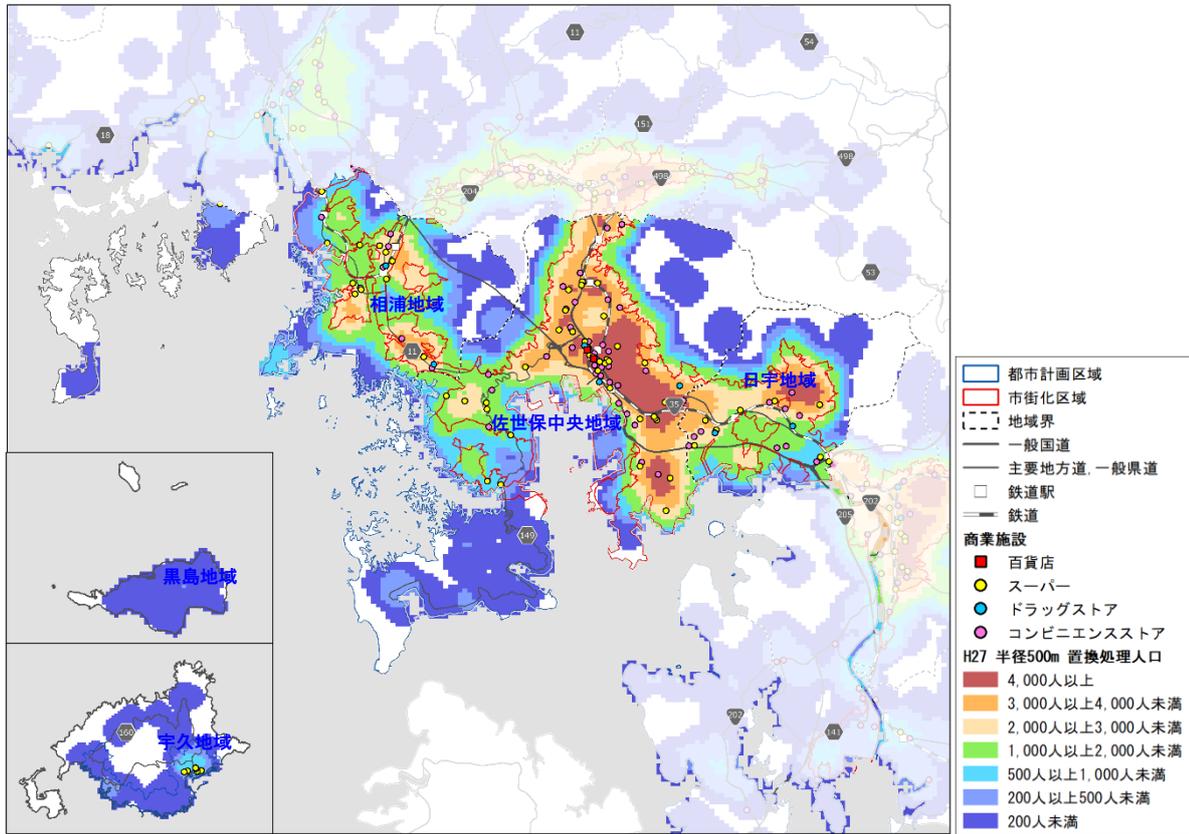


図 規模別商業施設の分布とH27人口分布(佐世保中央、相浦、日宇エリア)

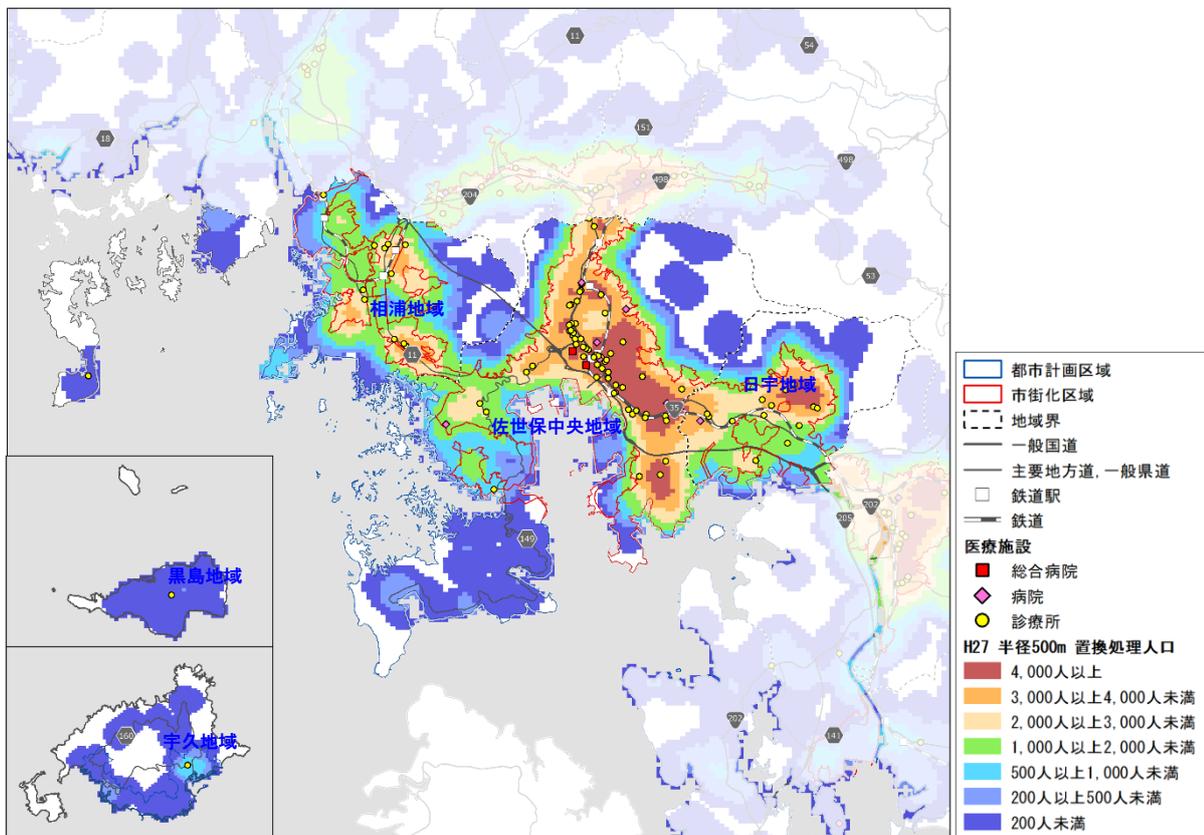


図 規模別医療施設の分布とH27人口分布(佐世保中央、相浦、日宇エリア)

② 東部エリア

東部エリアにおいては、人口集積の高い早岐地域の市街化区域内において、複数の都市機能施設にアクセスしやすい環境にあり、総じて利便性が高い傾向にあります。

なお、早岐地域の市街化区域内の商業施設や医療施設の規模別施設分布をみると、スーパーやコンビニ、診療所等の身近な施設の立地が中心となっています。

一方、市街化調整区域においては、JR 三河内駅や JR 南風崎駅の周辺のほか、長畑町、指方町等の国道沿線で複数の都市機能施設にアクセスしやすい環境にありますが、これらは主にコンビニエンスストアや診療所等の立地が中心となっています。

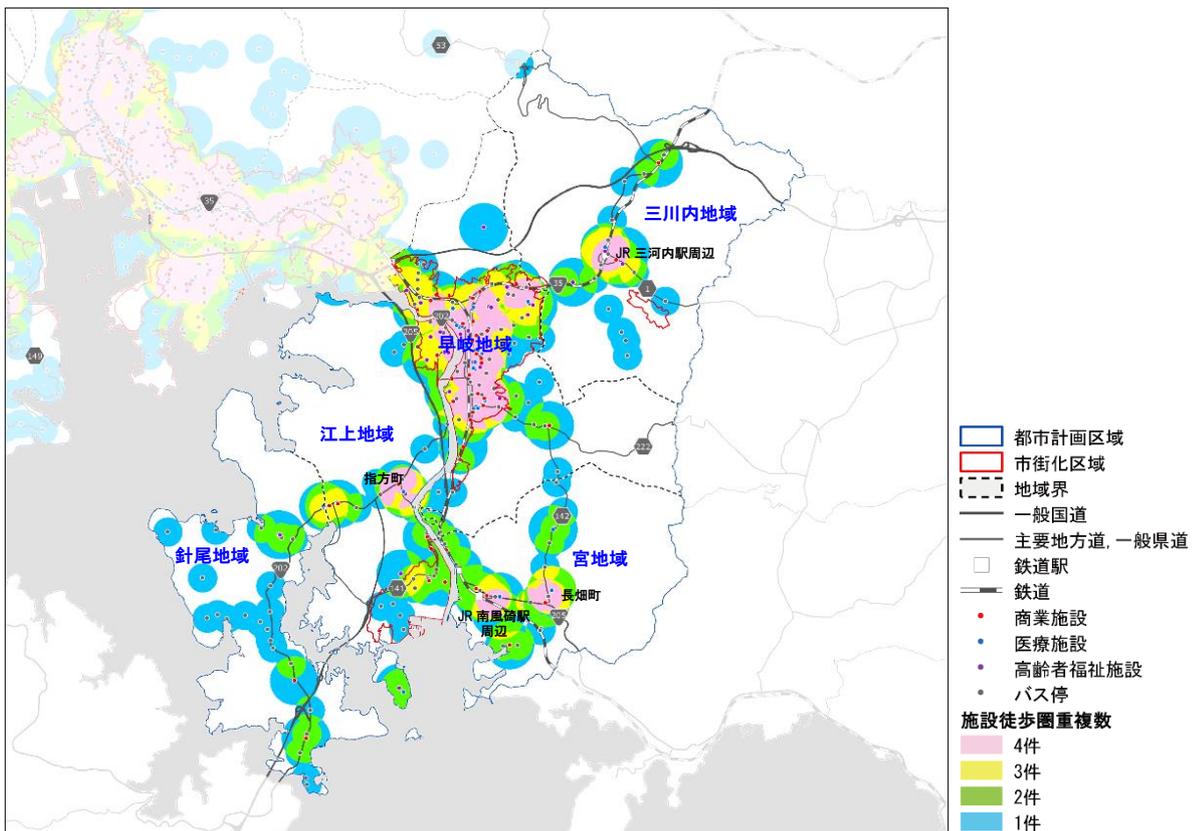


図 施設重複状況(東部エリア)

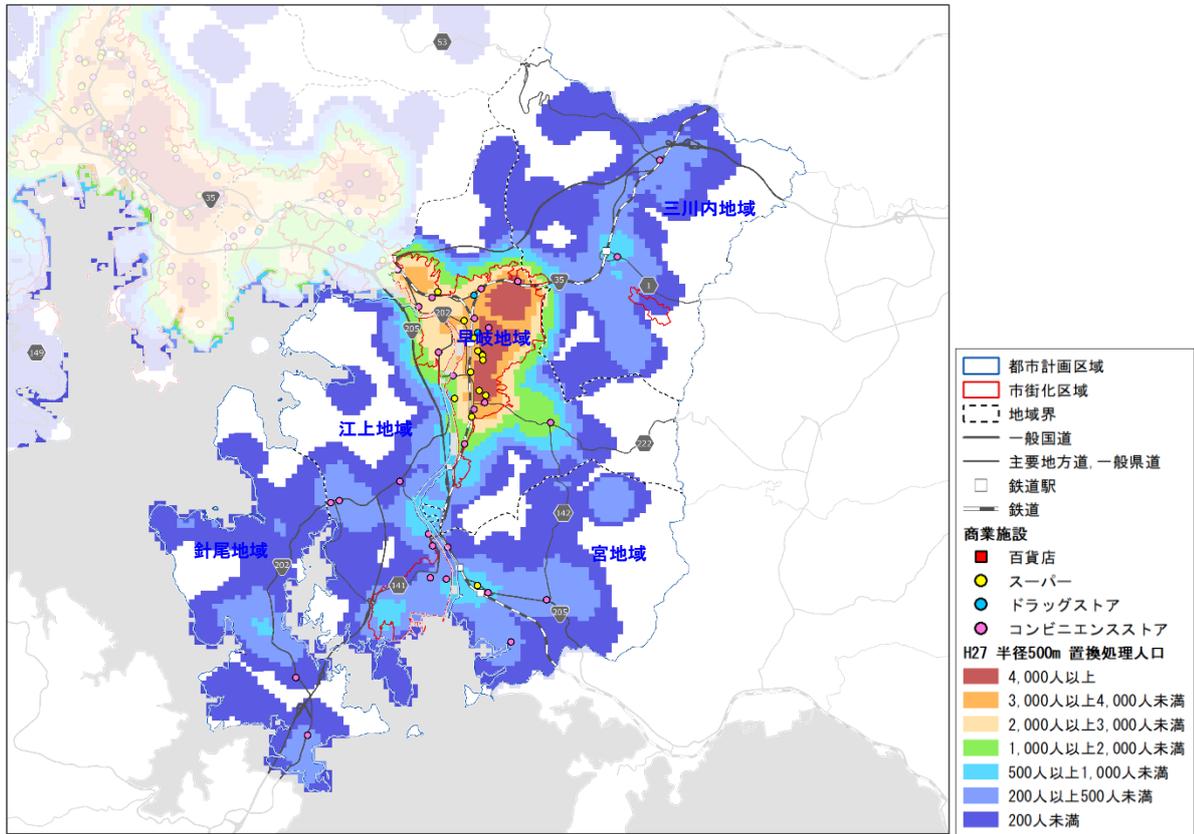


図 規模別商業施設の分布とH27 人口分布(東部エリア)

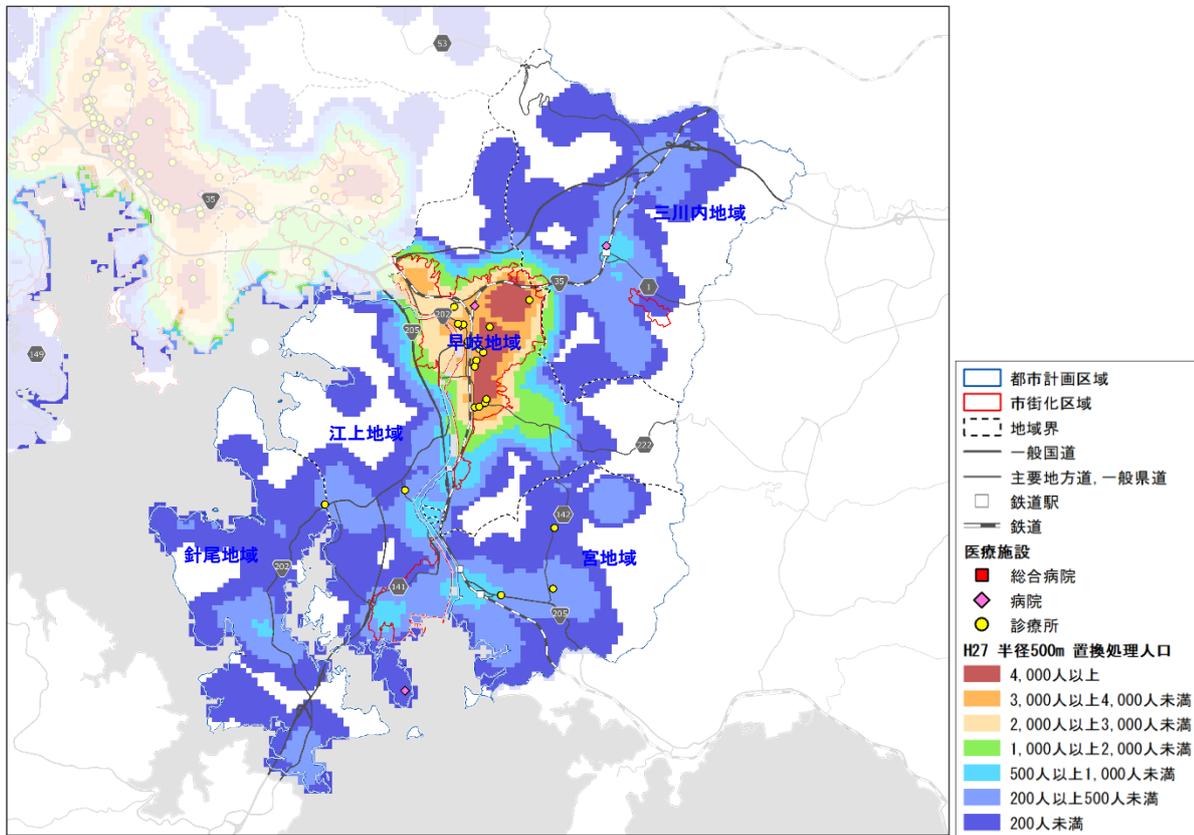


図 規模別医療施設の分布とH27 人口分布(東部エリア)

③ 中北部エリア

中北部エリアにおいては、東西を横断する国道 204 号と国道 498 号を中心に、市街化区域が細長く指定されています。この市街化区域内では、国道を中心に複数の都市機能施設にアクセスしやすい環境にあり、総じて利便性が高い傾向にあります。

ただし、この市街化区域内の商業施設や医療施設の規模別施設分布をみると、病院が 3 ヶ所存在するものの、スーパーやコンビニ、診療所等の身近な施設の立地が中心となっています。

一方、市街化調整区域においては、都市機能施設の立地が総じて少ない傾向にあります。

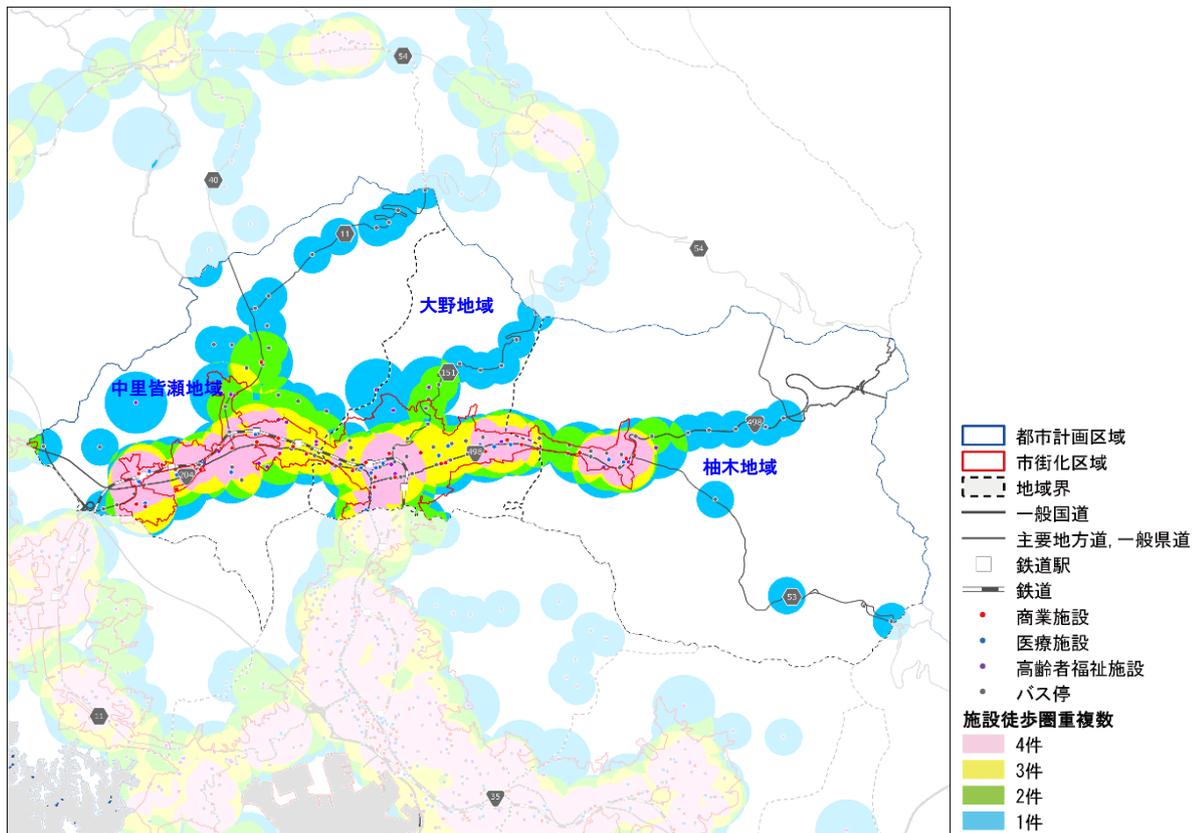


図 施設重複状況(中北部エリア)

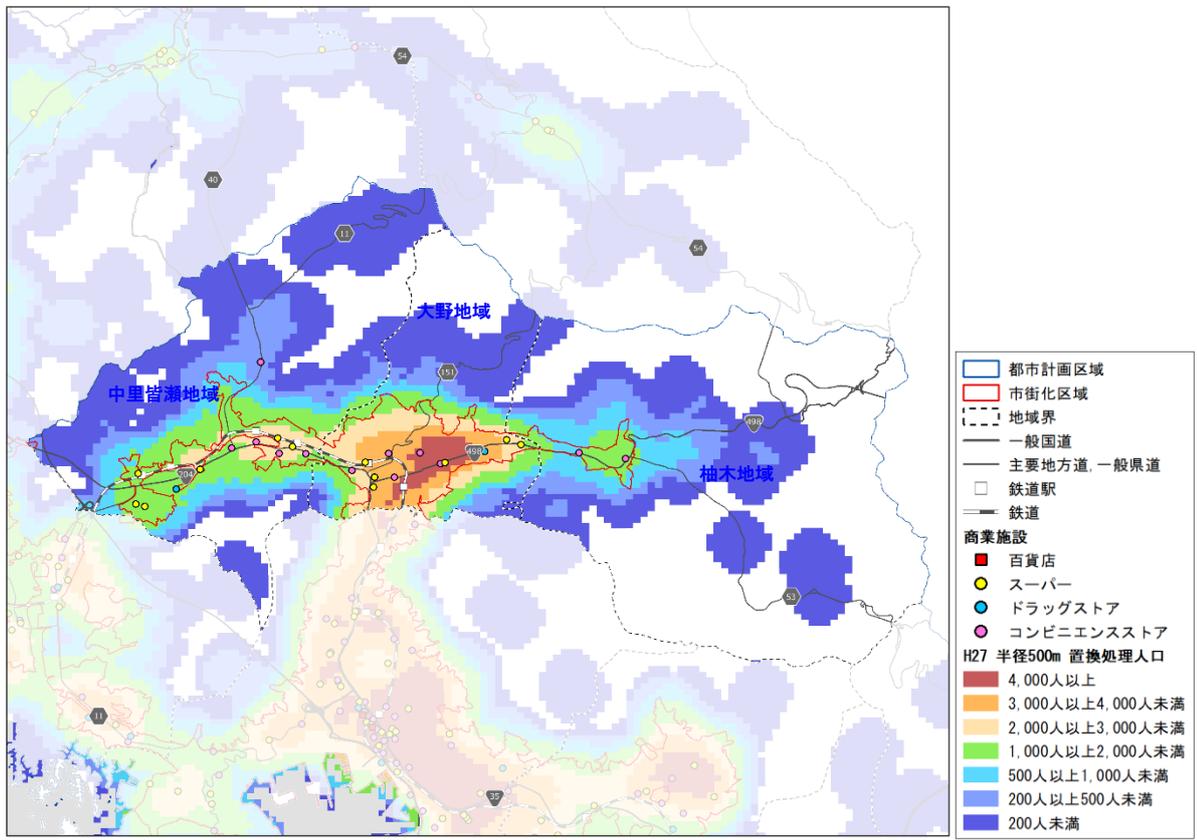


図 規模別商業施設の分布とH27人口分布(中北部エリア)

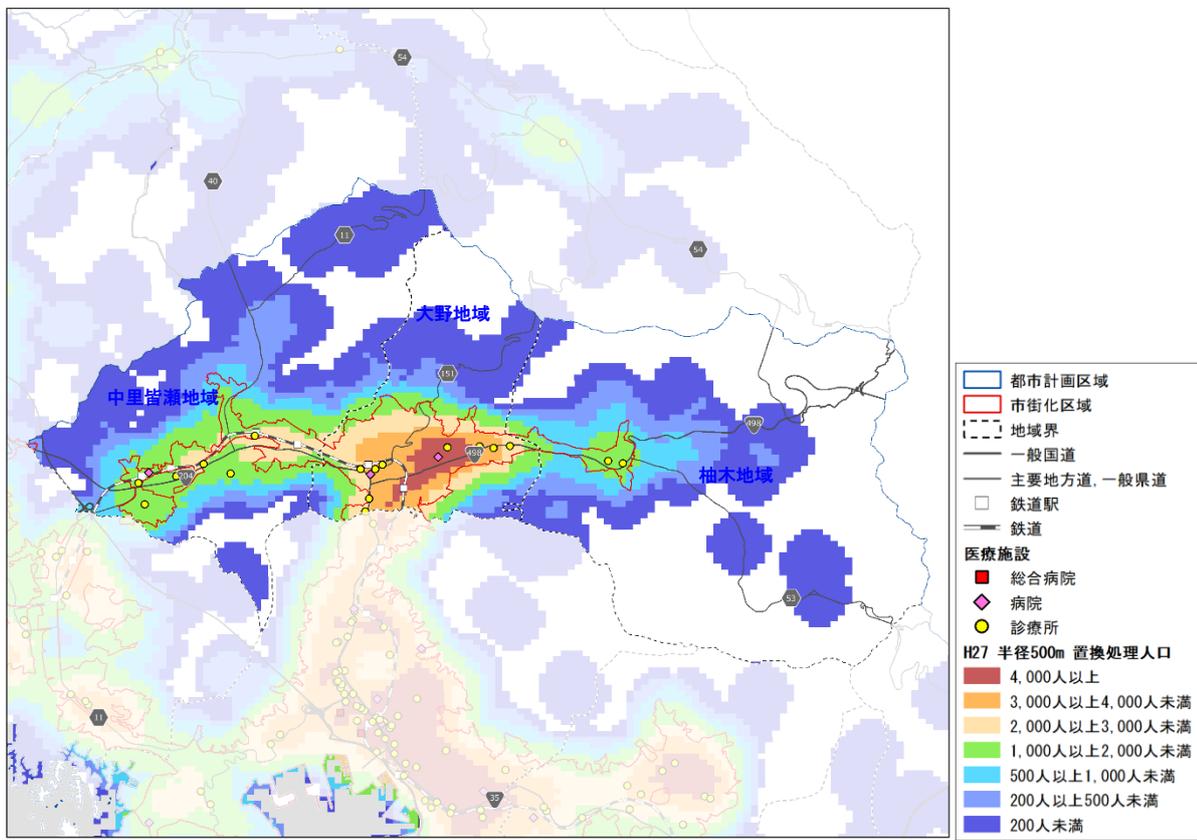


図 規模別医療施設の分布とH27人口分布(中北部エリア)

④ 北部エリア

北部エリアにおいては、江迎都市計画区域（非線引き都市計画区域）を除いて、都市計画区域外となっています。

江迎都市計画区域内では MR 江迎鹿町駅や MR 高岩駅の周辺、非線引き都市計画区域では吉井町直谷、吉井町橋川内、世知原町栗迎（世知原支所周辺）等の県道沿線で複数の都市機能施設にアクセスしやすい環境にあります。

これらは、主にスーパーやコンビニ、診療所等の身近な施設の立地が中心となっています。

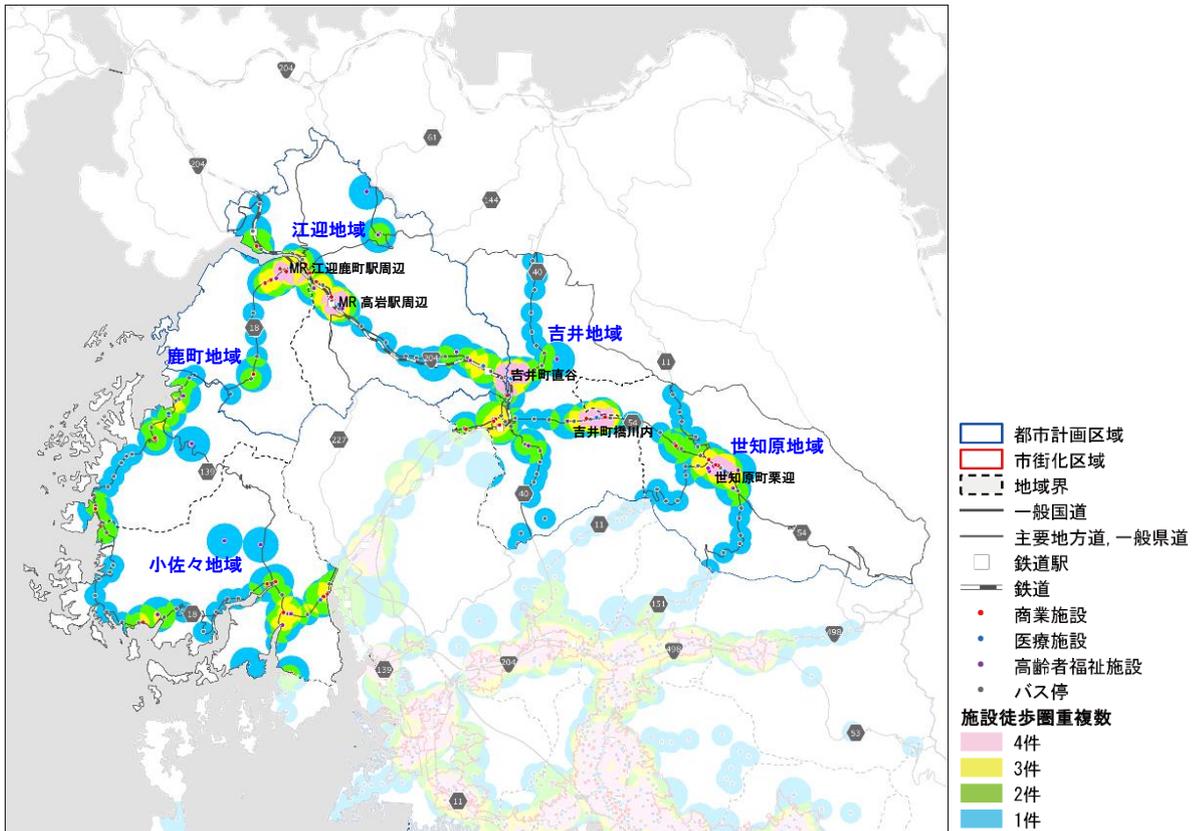


図 施設重複状況(北部エリア)

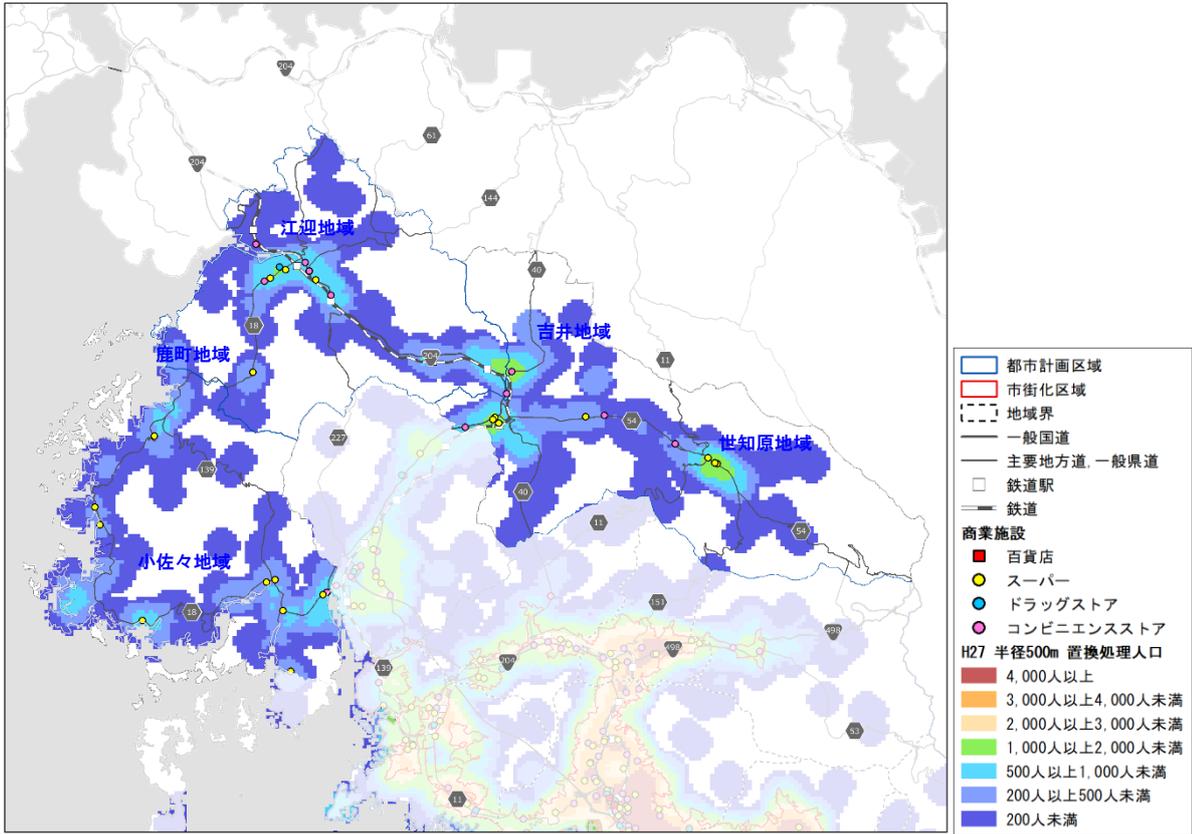


図 規模別商業施設の分布とH27 人口分布(北部エリア)

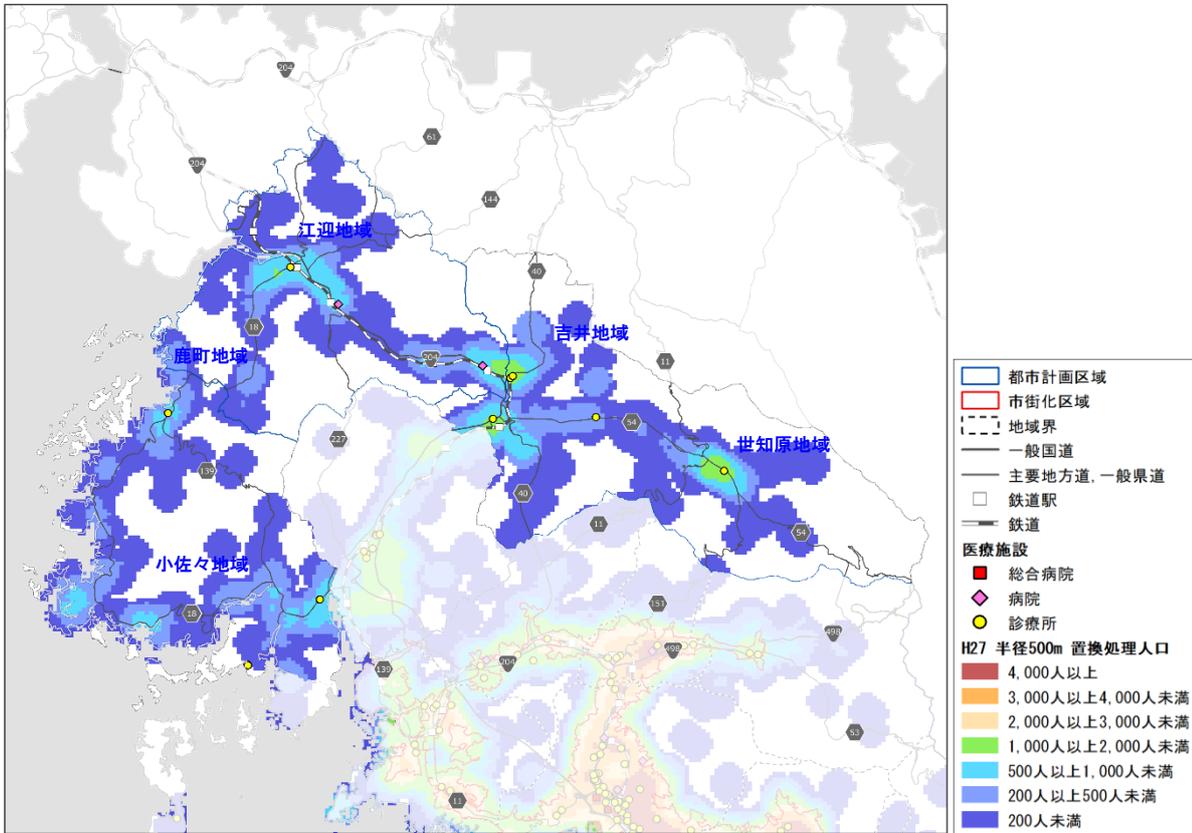


図 規模別医療施設の分布とH27 人口分布(北部エリア)

⑤ 佐々エリア

佐々エリア（非線引き都市計画区域）では、MR 佐々駅周辺の地域において、診療所が集中して立地しており、スーパーやコンビニ等、複数の都市機能施設にアクセスしやすい環境にあります。

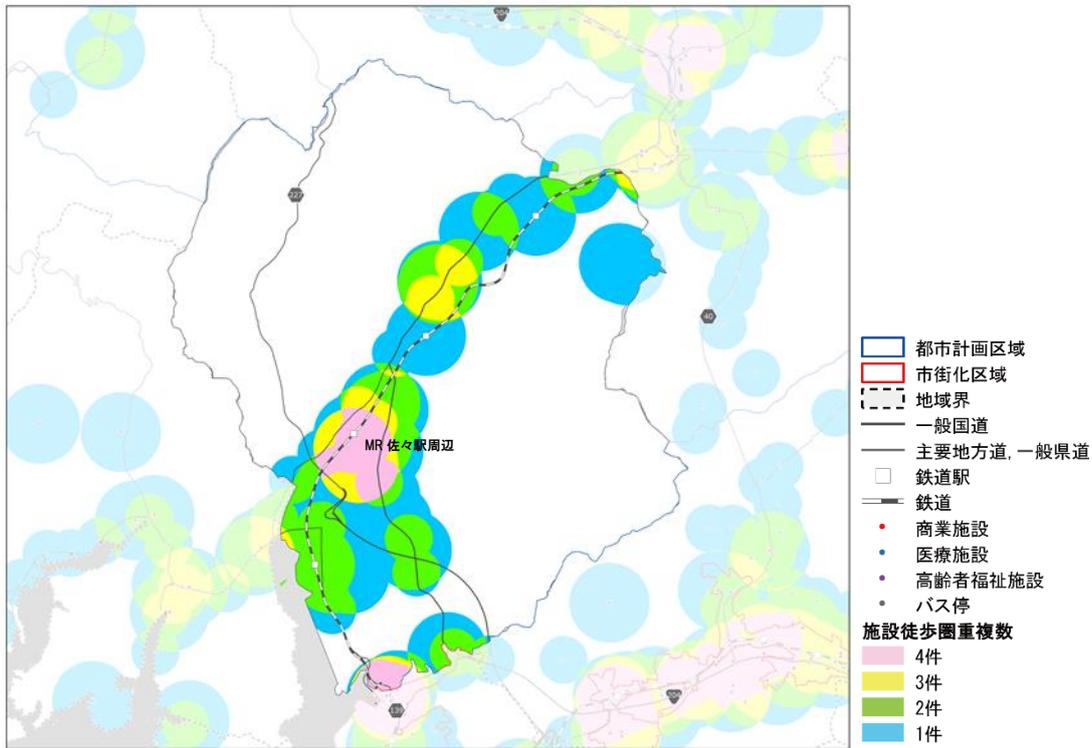


図 施設重複状況(佐々エリア)